

分野：②

アカマツを元気にする森の手入れと薪割体験

環境アドバイザー

足立 圭子

対象 ふじみ野こどもエコクラブ(30人)

所要時間  2時間30分

場所 所沢市おおたかの森の再生地

実施時期 令和4年1月9日

概要

旧産廃跡地に自然を再生地している「森の再生地」でアカマツを元気にする森の手入れと薪割り体験をする

プログラムの
ねらい

10年前に植えたアカマツが大きくなって育っていますが、他の木が生えてきているのでアカマツに日が当たるように周りの木を切り出し、薪割りをします。

プログラムの内容

1 説明(10分)

森の再生地歴史と説明、アカマツの見分け方、ノコギリの使い方

2 アカマツの周りの木を切る(40分)

鳥たちの糞で生えてきたネズミモチや小さな木をノコギリで切る。

3 マサカリの使い方の説明(5分)

安全でケガが無いようにマサカリの使い方の説明

4 薪割り(80分)

各自、自分の背丈に合ったマサカリと割る台を選び
少しずつ試しに割ってもらおう。

高学年のこどもは慣れてきくると割れるようになる。

割った薪でお湯を沸かす(釜土を使いお湯を沸かし
てお茶を飲む)

5 片付けと感想(15分)



受講者の反応

10年前に植えたアカマツが大きくなっているのがびっくりした。以前の森の再生地はゴミの処分場だと聞いて驚いた。皆が頑張れば自然が戻ってくることを目でみてすごいことだと思った。今ある自然を守ることも大切だと思ったので自分たちの周りの森を守る方法を教えて欲しい。マサカリはとても重くて初めは怖かったが上手に説明してもらったので割れるようになり楽しかった。こども達につられて自分も楽しく薪割ができた(参加者の保護者)お母さんが喜んで薪を割っていたのが楽しそうだった。